センターだより

第50号

平成30年7月20日 発行

Aomori Prefectural School Education Center
青森県総合学校教育センター
〒030-0123　青森市大字大矢沢字野田80-2
☎017-764-1997FAX017-728-6351

研究委員会の紹介

研究委員会では、教育活動に役立つ実践的・先導的な研究の成果を学校現場へ還元するため、「あおもり教育フェスタ」やＷｅｂページ等で、積極的に公表しています。

プロジェクト研究

新学習指導要領実施や本県学校教育課題解決、各校がめざす「魅力ある学校づくり」等を支援するため、課の枠を超えて所員が共同で研究をしています。

今年度のプロジェクト研究の内容です。

①授業力向上
②マネジメント
③情報教育
④インクルーシブ教育システム
⑤うきうきワクワク学級・ホームルーム経営

研究員研究

県内の小中学校から派遣された16名の研究員が、学校現場での経験及び喫緊の教育に関する課題等を踏まえ、自ら課題を設定して個人研究を行っています。１年目研究員は、７月の「構想発表会」と２月の「研究経過報告会」を全職員に発表し、２年目研究員は、８月の「研究経過報告会」と11月の「あおもり教育フェスタ」での発表を経て、２年間の成果として研究論文を作成し、Ｗｅｂページで公表します。

学校サポート委員会の紹介

学校サポート委員会は、「校内研修等講師派遣事業」を担当しています。６月末現在の申込み状況は、下表のとおりですが、「調査法の活用」「これからの学びにつながる授業力」「特別の教科　道徳」などのテーマでの申込みが非常に多くなっています。

学校が抱えている教育課題の解決に向けて、指導主事が講師として校内研修に出向き、校内研修の活性化を図り、教育活動を支援します。

派遣予定数　145件（６月末現在）
受講予定者数　4149人

校内研修等講師派遣事業の状況

	テーマ	派遣
1	調査法の活用（「アセス」「Q-U」」の理解と活用）	29
2	これからの学びにつながる授業力・主体的・対話的で深い学びの視点で行う授業改善	23
3	特別の教科　道徳	22
4	いじめへの対応・不登校への対応・保護者への対応	17
5	新学習指導要領に即した指導の在り方	15
6	特別な配慮が必要な児童生徒への支援	15
7	個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成・障害特性に応じた指導　他	9
8	人間関係づくり・ストレスマネジメント・面接相談の進め方　他	8
9	授業のユニバーサルデザイン化・授業におけるICT活用　他	7

・申込み多数のため日程が重複して派遣できないケースが増えてきました。是非、近隣の学校と合同で行う校内研修も御検討ください。
・児童生徒や保護者を含む場合は、本事業の対象となりませんので、御注意願います。

図書資料室から

学校教育に関する書籍等を多数取り揃えています。

研修で来所されたときには、ぜひお立ち寄りください。貸し出しもしています。

入口付近が新刊コーナーです。

校長及び教員の資質の向上に関する指標が策定されました

平成29年4月1日に教育公務員特例法の一部が改正となり、校長及び教員の資質の向上に関する指標の全国的整備が規定されました。これを受け、本県では「青森県教員等資質向上推進協議会」を設置し、今年2月14日「校長及び教員の資質の向上に関する指標」が策定されました。

この指標の対象は、本県教育委員会が任命する公立の小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の校長、教頭、教諭、助教諭、養護教諭及び栄養教諭（以下「教員等」という。）です。この指標は、県教育委員会等が主催する校外での研修や日常的な職場内研修等を通じて教員等の資質の向上を図る際の目安であり、教員等一人一人が教職生活全体を俯瞰しつつ、自らの職責、経験及び適性に応じて更に高度な段階を目指すための手がかりとなるものです。

本県の教員の資質の向上に関する指標（イメージ）

教諭、助教諭、養護教諭、栄養教諭を対象とした指標を、A3判1枚にまとめています。

縦軸には、指標の内容を、大きなくくりとして「人間力」「指導力」「マネジメント力」の3観点で整理し、その中に項目立てた観点を職に応じて示しています。

横軸には、キャリアステージを設定しています。左から、
「採用時」
・本県の教員として採用される段階
「形成期」
・初任から概ね採用5年目まで
「向上・発展期」
・概ね採用6年目から15年目まで
「充実期」
・概ね採用16年目以降
の4段階で示しています。

キャリアステージに応じて、それぞれの観点毎に教員等の資質の向上を図る際の目安を示しています。教職生活全体を俯瞰しつつ、更に高度な段階を目指すための手がかりとなるものです。

※講師等の臨時職員については、教諭等と同様に児童生徒の成長を担っていることから、この指標を参考に資質の向上を図ることが求められています。

本県の校長及び教頭の資質の向上に関する指標（イメージ）

校長、教頭を対象とした指標を、A4判1枚にまとめています。

観点		校長	教頭
人間力	管理職としての素養	職業倫理の垂範、法令の理解や遵守、誠実・公正な職務の遂行 教育や自校を取り巻く状況の把握、的確かつ迅速な判断 リーダーシップの発揮と自ら学び続ける向上心	
マネジメント力	学校経営ビジョン構築、教育課程の管理	学校課題を基にした中・長期的な視点による学校経営ビジョンの設定と課題に対する的確な対応策の明示 特色ある教育課程の編成と進行状況の管理	・学校経営ビジョンの理解と学校課題の適切な把握 ・特色ある教育課程の編成・実施・評価・改善のための情報収集と整理・分析
マネジメント力	人材育成	教職員の現状把握、OJT（日常的な職場内研修）の推進による人材育成と必要な支援・助言、的確な評価	・教職員の同僚性を育む組織風土の醸成、OJTの体制整備
マネジメント力	組織運営・経営資源の活用	学校の効率的な経営、検証・改善 組織の活性化、業務の負担軽減のための基本方針の明示 個々の能力や適性に応じた校務分掌の配置、適切な労務管理 効果を高める施設管理や設備の充実、計画的・効率的な予算執行	・学校の効率的な運営に向けた調整、検証・改善 ・組織の活性化、業務の負担軽減に向けた具体策の提示 ・教職員の職務や健康面・メンタル面の把握と対応 ・日常的な施設・設備の点検と効率的な補修・修繕計画
マネジメント力	危機管理	学校安全マニュアルの作成と見直し、学校内外への周知 危機管理体制に基づく迅速で的確な判断・指示	・学校安全マニュアルの作成に向けた情報収集と整理 ・学校安全マニュアルの周知・徹底 ・危機管理体制に基づく組織的な取組の推進
マネジメント力	連携・協働	家庭や地域社会、関係機関等と連携・協力した学校経営 経営者としての説明責任	・家庭や地域社会、関係機関等との適切な対応・交渉 ・家庭等に対する学校の教育方針や現状の発信

横軸には、職として、左から校長、教頭と示しています。

縦軸には、管理職としてのマネジメントの資質が求められることから、大きなくくりとして「人間力」「マネジメント力」の2観点で整理し、それらの中に「管理職としての素養」「学校ビジョン構築、教育課程の管理」「人材育成」「組織運営・経営資源の活用」「危機管理」「連携・協働」の観点を示しています。

教頭は、「教育をつかさどる」という職務の性質上、前述の「教員の資質の向上に関する指標」に示した「指導力」の観点にも留意することが求められています。

県教育委員会は、指標等の改善を図るため、青森県教員等資質向上推進協議会を定期的に開催することとしています。

「青森県教員等資質向上推進協議会」は、県教育庁（4名）、市町村教育委員会（3名）、大学（1名）、校長会（4名）で構成されています。

指標に関する詳細については、当センターWebページの下記バナーから確認することができます。

学校教育全般に役立つ情報

校長及び教員の資質の向上に関する指標 >

特色ある講座の紹介

新学習指導要領に向けて学びたい先生方のための講座 ～その2～

C01 「考え、議論する道徳」の授業づくり研修講座

10月10日（水）、11日（木）開催

申込締切は
9月１2日（水）です

問題解決的な学習の発問は？

教科化になってどう変わるの？

「多面的・多角的に考える」授業は？

「自己を見つめる」授業は？

「評価」は？

講義や演習を通して「考え、議論する道徳」の授業への改善を図ります。

【講義】 「特別の教科　道徳」に求められる授業づくり

（講師）宇都宮大学大学院
准教授　**和井内　良樹**　氏

学級経営、特別活動、特別支援教育等、豊富な実践例に基づいた幅広い視点からの授業実践のヒントがいっぱいの講義です。

あおもり教育フェスタ2018の紹介

と　き
平成30年11月16日（金）
平成30年11月17日（土）

ところ
青森県総合学校教育センター

学校事情に合わせて、参加いただけるよう平日・休日開催を計画しております。どちらか一日でも、ご参加くださると幸いです。

【講演会：11月17日（土）9:30～12:30の予定】

講師：京都大学大学院教育学研究科
教授　西岡　加名恵　先生
演題：「『資質・能力』を育成するパフォーマンス評価」
http://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/seika/

新しい時代を生きるのに必要な「資質・能力」を、どのように育成すればよいのでしょうか？本講演では、パフォーマンス課題を取り入れることで、子どもたちに「本質的な問い」を深く考えさせるような、カリキュラムや授業の作り方を提案したいと思います。また、探究学習や入試改革において、ポートフォリオがどのように活用されうるかについても、紹介します。
（西岡先生より）

＝予定している主な内容＝

＜16日（金）＞

☆ **研究指定校実践発表**
中泊町立中里小学校・十和田市立第一中学校・県立三本木高等学校附属中学校

☆ **研究指定校授業公開**
青森市立三内中学校・弘前市立千年小学校・八戸市立小中野小学校

☆ **他県の実践事例発表**
学力向上を目指した他県の特色ある取組を紹介します。

☆ **研究員研究発表**
当センター2年目研究員による、研究の発表です。

＜17日（土）＞

☆ **講演会**
本県の学校課題に関して、その解決のヒントを見つけられるような講演をしていただきます。

☆ **プロジェクト研究発表**
当センター所員によるグループ研究の中から、明日から使える授業アイディア等を提案します。

＜お問い合わせ＞
Tel：017-764-1990 Fax:017-764-1989 山下，田中，大野（青森県総合学校教育センター）
＊発表内容や申込方法等の詳細については、9月に最終案内を各学校・関係機関に送付予定です。
たくさんの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。